

「いのち」の教育実践事例

☆県立左沢高等学校の実践

地域連携・共生
生命の継承の大切さ
に関する教育

—地域・共生の学びといのちをつなぐ人づくり—

地域と共に生き、地域を大切にし、いのちの大切さを学び実践していく

①地域探究活動による交通安全普及活動

探究活動において、地域の小学校へのアンケートや実地検証を行い、交通安全のマップを作成し、各家庭へ配布することにより、命の大切さについて意識を高めることができました。他にも歴史・文化や福祉・教育、食や生活について地域を深掘りし、地域における課題や解決方法などを探り、地域への理解と貢献について学びを進めています。

②地域ボランティア活動の実践

本校は毎年地域ボランティア活動を実施しています。地域の清掃活動や高齢者施設でのお手伝いなどを実践しており、地域と共生する心の醸成を目指しています。3年前の最上川氾濫による住宅浸水では部活動単位での有志ボランティアに多数の生徒が参加し、また昨年8月の大江町での住宅浸水被害でも、有志ボランティアとしていち早く参加した生徒がいました。

③薬物乱用防止講話

毎年本校では薬物乱用防止教室を行っています。令和4年度においても6月17日に寒河江警察署の生活安全課統括少年補導専門官及び刑事課の方を講師に迎え、「薬物等の社会問題から身を守るために」と題し、最近の具体例や身近な薬物の危険性について講演をしていただきました。改めて薬物の恐ろしさと危険性を知り、命の大切さを実感することができました。

実際にその場に行き、写真を入れた安全マップを家庭に配布。



▲探究活動での発表場面



大変だけどやりがい、達成感がある！

▲人のためになることは、やりがいにもなる



薬物ってやっぱり怖い！